

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

伊 藤 実^{†1}

今年度最初の TOM の発刊です。今号では、2010 年 12 月開催の MPS81 (九州大学) から 7 編、および、2011 年 3 月開催の MPS82 (宮崎) から 4 編の合計 11 編を掲載しています。そのうち 10 編はオリジナル論文、1 編は事例紹介論文です。今年度の残りの発刊は 10 月と年明け 2 月を予定しています。4 カ月ごとの定期刊行を目標に掲載までの期間をできる限り短くするよう努力したいと思っていますので、TOM への積極的な論文投稿をお願いします。

MPS82 は 3 月 7 日と 8 日に宮崎・青島パームビーチホテルで開催されました。今回、宮崎大学工学部の古谷博史先生、吉原郁夫先生らのご尽力により、風光明媚な温泉地で研究会が開催できたことを感謝いたします。ご存じのように、宮崎県では、口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火等の災難が重なり、「がんばろう宮崎」のスローガンが空港に掲げられており、懇親会でも大きな話題になりました。しかし、研究会終了の 3 日後の 3 月 11 日に東日本大震災が起こり、情勢が急変してしまいました。被災された方には心からお見舞いを申し上げます。今回の未曾有の大災害を目の当たりにし、我々情報科学分野の研究者として、今後、事前の検知、適切な避難誘導、正確な情報の配信等、何らかの形で役に立つ研究を進めていかなければならないことを痛感しています。

TOM30 の採録論文数/投稿論文数は 11/18 で、採択率は 61%となります。今号の採録論文 11 編の担当編集委員は、上田修功、加藤毅、北栄輔 (3 編)、小林聡、笹倉万里子、高階知巳、馬場謙介、古瀬慶博 (2 編) となっています。なお、今年度から、高間康史先生 (首都大学東京)、山内由紀子先生 (九州大学) が新たに編集委員に加わりました。

今号を見ても分かりますように、TOM に掲載される論文はコンピュータサイエンスの境

界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としていますが、これまでも慢性的に編集委員が不足している状態です。TOM では編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方は伊藤 (ito@is.naist.jp) までご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。なお、論文誌の定期購読制度もありますので、ぜひ、こちらをご利用ください。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内等に関する最新の情報はすべて WWW ページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/mps/>) よりたどることができますので、MPS 研究会および論文誌 TOM に関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

^{†1} 情報処理学会論文誌「数理モデル化と応用」編集委員長
奈良先端科学技術大学院大学